



平成28年7月25日

各位

会社名 株式会社 小野測器
 代表者名 代表取締役社長 安井 哲夫
 (コード番号6858 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 濱田 仁
 (TEL. 045-476-9706)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年1月27日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,800	800	820	480	40.42
今回修正予想 (B)	12,800	200	210	120	10.21
増減額 (B-A)	▲1,000	▲600	▲610	▲360	—
増減率 (%)	▲7.2	▲75.0	▲74.4	▲75.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年12月期)	13,333	468	650	412	33.60

業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、ほぼ計画通りの業績となる見込みであります。一方、4月以降は九州地方での震災の発生、急速な円高の進行、欧州連合からの英国の離脱の決定など、不確実性が急速に増しております。また、当社グループの主要顧客である自動車業界においては、燃費規制に対するデータの信頼性の問題などにより、新車販売台数が減少したこと等も要因となり、設備投資に慎重姿勢が顕著となってまいりました。

直近では為替や株価も落ち着きを取り戻しておりますが、顧客の設備投資の姿勢から急速な受注の回復は困難であり、下期の売上計画の達成が困難となる見込みとなったため、通期業績予想を修正いたします。また、損益面につきましては、競争力の強化のため、前事業年度における実験棟の新設、研究開発の継続、平成29年1月稼働を目指した新情報システムの構築等を行っており、損益分岐点が上昇したことから、売上高の減少に伴い予想利益が大きく減少する見込みであります。

今後につきましては、新規受注の獲得に注力するとともに、効率化とコストダウンを推進し、予想の達成に注力してまいります。

2. 配当予想の修正

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成28年1月27日発表)		10.00	—	20.00	30.00
今回発表予想	—	10.00	—	10.00	20.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成27年12月期)	—	10.00	—	20.00	30.00

配当予想修正の理由

当社は、経営基盤の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保充実を図るとともに、株主各位に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして認識し、連結業績に応じた利益配分を基本に連結配当性向30%を目安として、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当期につきましては、中間配当の修正はございませんが、期末配当につきましては、通期業績予想を修正することに伴い1株当たり10円とし、年間配当を20円に修正することといたしました。

なお、期末配当につきましては、平成29年3月開催予定の第63期定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上